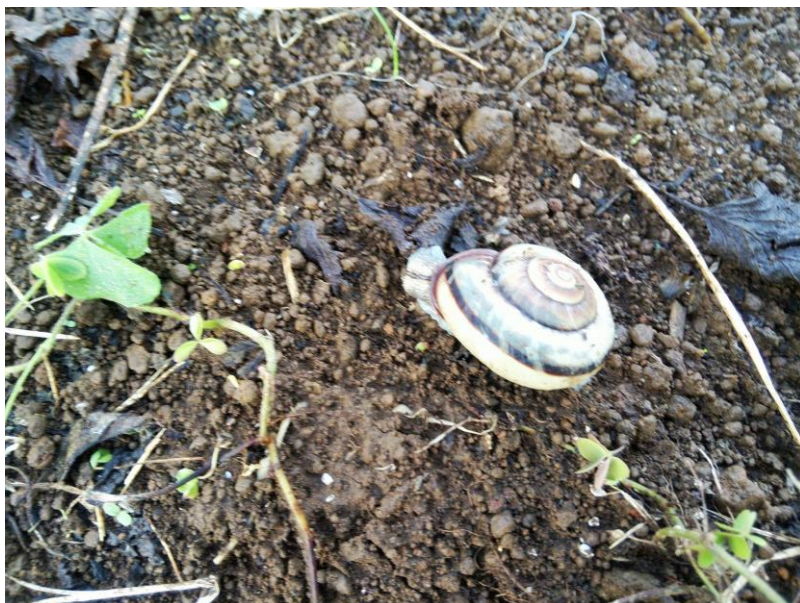


## 〈朝の畑〉

“晴れた！”

朝起きたら久しぶりの晴天！3日ぶりの散歩に出かける。途中、様子を見に畑に寄る。6時ちょっとすぎ、気温は丁度10℃。かなり寒く、吐く息が白い。それでもこのピリッとした朝の空気感は心地よい。生まれたての空気を吸い込んで思いっきり深呼吸。2度3度と繰り返し、ドロドロの血液も、プニョプニョ脂肪も、口臭も体臭もみーんなきれいになって汚れない体になる（ようにイメージする）。



雨をたっぷり吸いこんだハクサイは葉をいっぱい広げ、グングン大きくなっている。もうここまでくれば虫の心配はない。間引きしたダイコンも広々とした空間に放射状の葉を広げ根をどんどん太らせている。あと1か月もすれば口に入る。1週間前に蒔いたキヌサヤも芽を出し始めた。植物の生長の速さには本当に驚かされる。ハトに食べられないようにかぶせておいたポリポットをとりあえず外した。さて、散歩に戻ろうと足を踏み出したら足先にカタツムリ。危うく踏んでしまいそうだった。急に寒くなったのでどうしていいか固まっている感じだ。そろそろ冬眠支度に入る頃だろう。無事に冬を過ごした暖かくなったら遊びに来て欲しい。朝の畑に日が差し始めすじ雲が空一杯に広がっている。体中にエネルギーが蓄えられる。